

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 11 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502983		
法人名	有限会社 ピュア・ハート		
事業所名	グループホーム春里		
所在地	広島県福山市新市町戸手657番地1 (電話) 0847-52-5426		
自己評価作成日	令和2年10月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502983-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年11月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気大切に、安心して過ごして頂けるようにしています。 一人一人を大切に、尊厳の有る声掛けを心がけています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>コロナ禍による自粛はあるが、最近の事業所における特徴的な取組みとして第一に「本人と共に支えあう家族との関係」「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化が見られる。即ち、コロナ禍による面会自粛がある中、家族・利用者の不安を緩和するため、直接顔を合わせて話す機会が少なかったが事業所玄関で暖を取りながらの短時間面会を実現した経緯がある。第二に「本人と共に過ごし支えあう関係」「食事を楽しむことのできる支援」に深化が見られる。即ち、コロナ禍で閉じこもりがちな生活の中、元気の源である食事に傾注している。利用者の好みを反映して寿司を買ってきたり、おやつ作りでお好み焼きやピザに挑戦したり、食欲の落ちがちな夏には月に3回の「麺の日」を設け、ソーメン・うどんに舌鼓を打ち、敬老会では炊き込みご飯と煮物で家庭的な味を堪能して、年間目標である「家庭的な雰囲気」作りを実践している。</p>

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ホームに掲示している理念を、出勤時に確認している。	前管理者で策定された事業所理念を掲示しケア実践上の原点としている。その達成の為に年間目標・方針、分かり易い毎月の注意喚起を管理者・主任が設定し、その一覧を各職員に配布・周知している。それを年末に振り返り、気づきを促す中で理念の達成度を検証している。職員も自己目標を設定し、年2回の個人面談等で達成度を検証している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの為、地域の溝掃除には参加したがそれ以外は行事も中止になり交流が出来ていない(入居者様の徘徊時には、地域の顔馴染みとして、声かけや時にはお茶を飲ませてもらったり、職員での対応が困難な際は、ホームまでの送迎など協力して頂いている。)	現在はコロナ禍による外出自粛中だが、本来は日頃から近隣へ季節行事等で出かけたり、町内会にも加入して清掃・夏祭り等の地域行事に参加していた。法人主催の春里祭りへ地域住民の参加や舞踊ボランティアの受け入れ等、相互交流もあった。又、近隣小学校との交流会・中学生の職場体験等、世代間交流もあった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議、家族会の案内、声掛けなど行ったが、地域の人の参加は少なかった。今年にはコロナの為、運営推進会議・家族会等出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議ではホームの現状(利用者人数、平均介護度、平均年齢など)及び行事・入居者のホーム内での様子についての報告を行い、また、勉強会ではグループワーク等を行い、参加者の意見を聞き、ホーム内で反映している。今年にはコロナの為、会議が出来ていない。	今年の会議はコロナ禍により開催自粛となっているが、本来は定期的開催され、家族代表・利用者・支所職員・地域住民等が参加していた。会議では事業所の活動報告・意見交換が行われ、参加者の意見により利用者の喫茶店での外食に繋がった。昨年は外部講師による勉強会や家族会との合同開催の工夫もあった。	今年の会議はコロナ禍で中止となったが、書面による情報発信や事前照会案等、コロナ禍における会議運営の再検討を期待したい。又、市町・町内会他、知見を有する地域住民に呼びかけ多面的議論を促進する案や不参加家族へ議事録を送付して事業所運営に関する情報の共有案等、会議の活性化を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に、支所・包括の方にも来て頂いていたが、今年にはコロナの為、ほとんど連絡が取れていない。	コロナ禍以前は市町担当者等が運営推進会議に参加して情報共有することもあった。市町担当者とは日頃から相談や報告を行い、行政主催の虐待・集団指導等の研修会への参加を通して協力関係の構築を図っている。又、生活保護の利用者に対し生活課職員の定期的な訪問もある。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについては、勉強会を行い職員に周知している。(昨年)日常での言葉(声かけ)や態度で気になる点があれば、その都度、リーダー及び職員間で注意し合って改善に努めている。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せずセンサーで見守りをしたり、居室によっては赤外線離床センサー等を設置している。毎月事例検討会議を行い、現在同意の下、車いすベルト装着が1例ある。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止については全職員で学び、研修があれば必ず1人は行くようにしている。職員個人のファイル内に虐待・拘束の勉強に携わる事は用意しており、見返す事が容易なようにしてある。防止にも努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、成年後見制度の勉強会は、全員に徹底するよう全体ミーティング及び運営推進会議にて行った。(昨年)		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約内容の把握が困難であった場合、内容とは別に要約したものも使用し、理解促進や納得いただけるような働きかけをしている。又後日でも不明な事があれば尋ねて頂ける様伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	定期的に来所される家族も多く、来所時に利用者さん家族の意見・要望を聞いて、日常のケアに活かすようにしている。(今年は、コロナで面会時も短時間での接触のため、直接顔を合わせて話す機会が少なかったが、電話などで意見交換を行った)	家族とは面会・介護計画更新時・電話連絡時・運営推進会議、概ね年4回の家族会・苦情箱等で意見を把握し、連絡ノート・口頭等で情報共有をしている。家族の要望により食事内容の改善やコロナ禍で利用者との面会制限はあるも事業所玄関で暖を取りながらの短時間面会を実現した経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年2回の面談以外にも、その都度、個人毎に聞いたり提案してもらっている。またそれを実施に向け取り組んでいる。</p>	<p>今年の2月から毎月の定例会議は中止とし、適宜時間を調整した話し合い、年2回又は随時の個別面談等を通して意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や個人目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員提案により、45分の休憩を別室で確実に取るに至った経緯がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談は基より、職員の態度や表情等に変化ある時は、随時声掛けや話を聞く機会を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階に応じた研修参加の推奨や必要と思われる研修への支援、希望する研修への参加支援等行なっている。又、勤務内での育成講習も随時行なっている。(介護技術、声掛け等) (今年は出来ていない)</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>今年は出来ていないが、研修会や勉強会等を通じ各種向上を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談や家族・ケアマネジャー・サマリーからの情報を基に、入居後も関わりながら情報を得て、安心して生活して頂ける様努めている。 入居されてからも、様子・状態をスタッフ間で情報交換し、不明な点等ご家族に確認し、出来るだけ早く新しい生活に慣れて頂くよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>契約時に改めて要望を聞き、こちらからも、わからない部分は、質問し、意見交換を行い、より良いケアが出来る様努めている。開始後も、その都度、要望を聞きこちらわからない部分は、日頃の様子を伝え、意見交換し、より良いケアが出来る様努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホーム希望があった場合でも、必要か否かを見て、他事業所や他サービスを勧めたりしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家族の様に話をしたり、入居者から分からないこと等、人生経験を通しての指導をしてもらったり等の交流が出来る。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>各入居者の家族の来所が比較的多く、帰宅願望のある入居者には段階を見極め、個室での面会、美容室への付添い及び適度な外出を、その他、受診等も家族側から積極的に協力して頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの人（地域の知り合い）と地域の敬老会・催しなどにお連れし、あいさつ・会話でき、つながりの継続に努めている。また、ホームでの行事の際に、入居者の知り合いの方のグループ（日本舞踊）に依頼し、久々の再会にお互い喜ばれ、当時の記憶が甦ったようだった。</p>	<p>現在はコロナ禍による面会制限下、医療連携を密にして事業所玄関で短時間の面会をしたり、家族の協力も得ながら墓参り等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様にした例もあった。又、遠くの家族から手作りマスクが届いたり、仲人をした相手が手紙を持参した事もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共通の楽しみから、会話して頂いたり、入居者同士のコミュニケーションが難しい場合、各々の性格・相性・得意・不得意分野を把握し、スタッフが間に入り、良好な関係が築ける様努めている。また、席の配置もその都度、検討している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホーム退去後も気軽に来て頂ける様な関係を保っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向の把握に努めており、希望を交えた本人さんの思いにその都度検討している（疾病等により）場合には家族さんへの相談を行い、本人さんが望むであろう事も検討している。	利用者の習慣や好み等の基本情報を基に、その後はその方に深く関わりをもつことで思いを汲み取り、連絡ノート等で共有している。事務職だった生活歴を基に利用者の得意な書字で行事の書き物を手伝ってもらったり、移乗困難で居室対応の方にはドアを開けフロアの生活音や景色を共有できる様努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前に話を伺う以外に、入居後も本人さん・家族さんとの会話で、バックグラウンド作りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ユニット職員内で問題やその人の状態・現状を把握し、アセスメント表やカンファレンス、申し送り（連絡ノート・個人ノート）でケアマネジメントに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の希望や状態、現状を把握し、家族の訪問時等には意向を聞いている。モニタリングや前回のプランの評価をもとにカンファレンスを行い、介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画原案を適宜担当者会議で検討し、面会時等に家族の同意を得て本案としている。半年毎に職員がモニタリングを集約し、1年を基本に計画を見直している。家族の要望・同意の下、車いす使用時はベルト固定するが、それ以外の時はベッドの替りに布団を敷き、居室ドアに鈴をつけて再転倒を防いだ例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録・申し送りノートは基より、本人さんの個別ノートで疾病や薬の変更等記載し見直し時に活用できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>急な入居受入れなど（当日入居）にも、対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員・ボランティア・公民館等にご協力頂き、ホーム内外での行事への参加や消防署の方には避難訓練などで指導を頂いている。また、本人の意向により地域での外食を行なっている。（今年はお出していない）</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要時のかかりつけ医以外の受診対応や往診対応等、家族・かかりつけ医・看護師と話し合い、その都度その方に必要な支援をしている。本人の精神的な面で、かかりつけ医が2か所ある方もいる。</p>	<p>希望があればこれまでの主治医の継続も可能だが、殆どの方は協力医から二週間毎の訪問診療を受けている。専門医の受診は主に家族の協力による。非常勤看護師の配置もあり、日常的な健康管理や診療の補助を担っている。協力歯科医から月2回の訪問診療もあり、適切な医療を受けられる体制にある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や協力医療機関の看護師に随時相談しながらその時適した健康管理や医療への支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の連携はもちろんの事、情報交換や相談等も随時行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時にアンケートを取り、説明している。重度化した場合は、家族から希望を細かく伺い、家族の同意書・了解のもとプランに盛り込み、主治医・全職員で支援に取り組んでいる。	要望があれば看取りを行なう方針である。入居時に緊急時対応等のアンケートの実施や看取りの指針を説明し了解を得ている。重度化した際は主治医・家族等で話し合い書面による同意の下、適切な支援を行っている。年に数例の看取りがあり、他の利用者とお見送りをしたり職員での振り返り他も行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	応急手当・心肺蘇生・AED使用等定期的に勉強会を行ない、訓練している。(今年はできていない)		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	出火場所を変えたり、日勤帯、夜勤帯と想定時間を変え、年2回の避難訓練を行っている。(今後、水害についての避難訓練も検討中)	消防署立会いも含め、年2回の避難訓練を夜間想定・利用者も参加して実施している。ハザードマップでは非該当地域だが、今後の災害に備えて水害等の災害訓練による減災対策を検討中である。非常用飲料水等、一定の備蓄整備はなされている。	定期的な避難訓練は実践的に展開されているが、地域との協力体制が十分に構築されていない。運営推進会議での情報交換や町内会他を介した地域住民との連携案等も踏まえ、体制の構築を期待したい。又、災害に備えて非常食・水等、適切で一覧可能な備蓄整備の推進も期待したい。

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛け等はプライバシーが保てるよう各職員が留意している。 個人情報の取り扱いについても同じくである。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者に対する言葉かけも不適切な対応には指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる職員育成に取り組んでいる。 トイレも車椅子使用時に戸が閉め切れない時にはつい立を置く等、細部にも気遣いがある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	話ができる方に関しては、思いや希望を出せるよう働きかけ、自己決定の支援をしている。会話、意思疎通が難しい方に関しては、家族さんと協力して支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	介護度の違いにより、できること・できないことなどの差があるが、起床、臥床、食事、家事手伝、レクリエーション行事等をその人のペースや心身状態に合せ、希望にそって支援している。(また、不満が出る場合には、その都度、理解して頂けるよう説明をしている)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみやおしゃれは支援している(化粧品の補充、毛染めの予約など)。本人が望めば希望の理容・美容院へ行く支援が出来る。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	おやつ作りや食べもの行事など、出来る範囲での手伝いは行ってもらっている。好み等も把握し提供している。種類のあなケーキ、ドーナツ、アイなど選択できるものは、選んでもらっている(現在は、コロナなど衛生面での管理が更に重要な時期なので、職員で行っている。)	外部委託で予め調理された副食が届く。主食や汁物は職員が作り、利用者には強みを発揮してできる協力をしてもらい、共に食事の雰囲気作りを楽しんでいる。コロナ禍による自粛前は数名で喫茶店ランチ等の外食もあった。今は利用者の好みを反映して寿司の購入やピザ他のおやつ作り等で食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量と血液検査結果等の把握により，食事量の少ない方には栄養補助飲料の提供、水分確保の為、3回/日の水分摂取（食事時外）を施行して、水分拒否のある方は、その方の気分に合わせ、容器の工夫や配分及び飲み物の種類の変更などで対応している。（糖尿病の方への対応又、拒否や身体状況によって水分が少ない時は、協力医の点滴にて随時対応している。食事も同様。）</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔状態や本人さんの力量に応じ用具も使用し支援している。状態に応じ歯科医の往診による口腔ケアをしている。（現在、往診1名 義歯の調整）専門的な治療が必要な場合は、ご家族と相談し、治療につなげている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各入居者の排泄パターンを把握して、トイレ誘導・パット交換を行っている。その際、自尊心を損なわないように配慮している。</p>	<p>排泄記録表で排泄パターンを把握してトイレ誘導を基本としている。紙パンツから一旦布パンツへ移行したが失敗の不安から元に戻したり、日中のみ紙パンツ等、その方の状態像に合わせた排泄の自立支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>原因や影響等理解できており対応の為の飲食物（ヨーグルト・オリゴ糖・牛乳など）、体を動かすことなるべく下剤に頼らない方向に変更する努力、その他の工夫を行なっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の午前入浴となっている。利用者の希望や体調によって、個別に柔軟に対応している。入浴を拒む方には、声掛け、浴室内の小物を工夫したり、タイミングを見ながら支援し、清潔保持に努めている。</p>	<p>週2回の午前浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の体の負担を考慮し、シャワー浴や足浴等で対応することもある。半埋め込み式家庭浴槽に出入りし易い位置に数種の手すりや滑り止めマット等の環境整備の他、柚子の入浴剤や浴後の保湿剤も好評である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は本人の意思を尊重す が、その時の状況に応じ安眠で できるよう支援している。 休息はその人のペースや身体状 態に応じた支援をしている。午 後からの臥床も取り入れ気分転 換も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬支援（服薬拒否も含む）と 症状変化の確認に努めており、 薬の目的・効能等、薬ケースに 貼付し、理解しやすいように している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	家族さんにも生活歴や好きだっ たこと等尋ねながらその人に合 った役割を支援している。 レクリエーションや行事等で気 分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	誕生日、気分転換にできる範囲 で外食を行っている。寝つきの 悪い入居者さんには、帰宅（数 時間）寺へのお参りの支援も 行った。（今年はできていない）	現在はコロナ禍による外出自 粛中だが、本来は普段から近 隣への散歩を楽しんだり、駅 家菊花展等、季節の外出行事 や公民館祭り他の地域行事、 喫茶店ランチ等、普段は行け ないような場所で「非日常」を 楽しむこともある。又、馴染 みの美容院での毛染め等、個 別外出支援も楽しみの一つで ある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	お金を持っている方もおられる が、持っていない方も、立替で 買い物が出る様支援している。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>できる方は、自ら電話をしたり、ご家族からの電話で話しをされたりしている。手紙の返信は難しいが、手紙を本人に渡し、そのときは、居室など個人のスペースで読んで頂き、喜ばれている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁面や各居室入り口に季節の飾り付けや行事の写真、入居者さんの作品等展示し、生活感溢れた居心地良い雰囲気作りに努めている。リビング照明は場所ごとに点灯するので光の強度を落とすことも出来る。</p>	<p>季節の花や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とするカレンダー等の壁掛け作品で季節の移ろいが感じられる。孤独感を紛らわす夜間の照明、高さの異なる数種の食卓・いすや調理の匂いで食へ誘う。又、今般の感染症対策で来訪者・職員等の消毒・マスク着用や換気等に万全を期している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>天気の良い日にはデッキにて日向ぼっこやフロアには座りやすいソファがあり、共用スペースでゆっくり出来るよう工夫したり、気分転換に違う階に行ったり等、過しやすい工夫をしている。また、安否確認をしながら各々の居室で自由に昼寝、テレビ(私物)を観て過ごしたりなるべく束縛のないよう対応している。また、転倒予防のソファを置いて、なるべく自由に動ける工夫もしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>各居室には、ご家族さまより持ち寄られた写真、日常の生活の中で見られた笑顔の写真・真剣なものごとに取り組んでいる写真等を貼ったり・テレビ等々がリラックスできる空間づくりをしている。</p>	<p>居室にはベッド・タンス等が備え付けられ、専用のテーブル他、使い慣れた物や看護師時代の白衣の写真等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。利用者によってはベッドに替えて布団を敷いたり、夜間排泄時の転倒防止のため赤外線離床センサーを設置する場合もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>フロアの壁に今月の行事や、カレンダー、季節の壁面等掲示し、季節感を味わってもらっている。トイレには、分かりやすいよう札を貼り、入居前のインテーク時などでお会いしたときに感じた印象から個人の表札を作成し、居室入口に自分で確認できるよう掲示している。</p>		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	ホームに掲示している理念を、出勤時に確認している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの為、地域の溝掃除には参加したがそれ以外は行事も中止になり交流が来ていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議、家族会の案内、声掛けなど行ったが、地域の人の参加は少なかった。今年にはコロナの為、運営推進会議・家族会等出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議でおおはホームの現状（利用者人数、平均介護度、平均年齢など）及び行事・入居者のホーム内での様子についての報告を行い、また、勉強会ではグループワーク等を行い、参加者の意見を聞き、ホーム内で反映している。今年にはコロナの為、会議が出来ていない。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に、支所・包括の方にも来て頂いていたが、今年にはコロナの為、ほとんど連絡が取れていない。生活保護の方については、担当の方と身体状態・金銭状況について等連絡を取っている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについては、勉強会を行い職員に周知している。(昨年)日常での言葉(声かけ)や態度で気になる点があれば、その都度、リーダー及び職員間で注意し合って改善に努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止については全職員で学び、研修があれば必ず1人は行くようにしている。職員個人のファイル内に虐待・拘束の勉強に携わる事は用意しており、見返す事が容易なようにしてある。防止にも努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、成年後見制度の勉強会は、全員に徹底するよう全体ミーティング及び運営推進会議にて行った。(昨年)		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約内容の把握が困難であった場合、内容とは別に要約したものも使用し、理解促進や納得いただけるような働きかけをしている。又後日でも不明な事があれば尋ねて頂ける様伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	来所時や電話で利用者さん家族の意見・要望を聞いて、日常のケアに活かすようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回の面談以外にも、個人毎に聞いたり提案してもらっている。またそれを実施に向け取り組んでいる。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談は基より、職員の態度や表情等に変化ある時は、随時声掛けや話を聞く機会を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	段階に応じた研修参加の推奨や必要と思われる研修への支援、希望する研修への参加支援等行なっている。又、勤務内での育成講習も随時行なっている。(介護技術、声掛け等) (今年が出来ていない)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今年が出来ていないが、研究会や勉強会等を通じ各種向上を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面談や家族・ケアマネジャー・サマリーからの情報を基に、入居後も関わりながら情報を得て、安心して生活して頂ける様努めている。 入居されてからも、様子・状態をスタッフ間で情報交換し、不明な点等ご家族に確認し、出来るだけ早く新しい生活に慣れて頂くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>その都度、要望を聞きこちらもわからない部分は、日頃の様子を伝え、意見交換し、より良いケアが出来る様努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホーム希望があった場合でも、必要か否かを見て、他事業所や他サービスを勧めたりしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家族の様に話をしたり、入居者から分からないこと等、人生経験を通しての指導をしてもらったり等の交流が来ている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>各入居者の家族の来所、比較的多く、親子での交流、会話をよくされたり、受診等、家族側から積極的に協力して頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの人（地域の知り合い）と地域の敬老会・催しなどにお連れし、あいさつ・会話でき、つながりの継続に努めている。 ただし、今年は出来ていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>共通の楽しみから、会話して頂いたり、入居者同士のコミュニケーションが難しい場合、各々の性格・相性を把握し、スタッフが間に入り、良好な関係が築ける様努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>ホーム退去後も気軽に来て頂ける様な関係を保っている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>意向の把握に努めており、希望を交えた本人さんの思いにその都度検討している。本人さんからの意思が全く聞けない（疾病等により）場合には家族さんへの相談を行い、本人さんが望むであろう事も検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>事前に話を伺う以外に、入居後も本人さん・家族さんとの会話で、バックグラウンド作りを行っている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>ユニット職員内で問題やその人の状態・現状を把握し、アセスメント表やカンファレンス、申し送り（連絡ノート・個人ノート）でケアマネジメントに活かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人の希望や状態、現状を把握し、家族の訪問時等には意向を聞いている。モニタリングや前回のプランの評価をもとにカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録は基より、本人さんの個別ノートで疾病や薬の変更等記載し見直し時に活用できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	急な入居受入れなど（当日入居）にも、対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	民生委員・ボランティア・公民館等にご協力頂き、ホーム内外での行事への参加や消防署の方には避難訓練などで指導を頂いている。また、本人の意向により地域での外食を行なっている。（今年はお出来ていない）		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	必要時のかかりつけ医以外の受診対応や往診対応等、家族・かかりつけ医・看護師と話し合い、その都度その方に必要な支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や協力医療機関の看護師に随時相談しながらその時適した健康管理や医療への支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の連携はもちろんの事、情報交換や相談等も随時行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時にアンケートを取り、説明している。重度化した場合は、家族から希望を細かく伺い、家族の同意書・了解のもとプランに盛り込み、主治医・全職員で支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	応急手当で・心肺蘇生・AED使用等勉強会に参加している。(今年はできていない)		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	出火場所を変えたり、日勤帯、夜勤帯と想定時間を変え、年2回の避難訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛け等はプライバシーが保てるよう各職員が留意している。個人情報の取り扱いについても同じくである。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	話ができる方に関しては、思いや希望を出せるよう働きかけ、自己決定の支援をしている。話が出来ない方に関しては、家族さんと協力して支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、臥床、食事、家事手伝、レクリエーション行事等をその人のペースや心身状態に合せ、希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみやおしゃれは支援している。本人が望めば希望の理容・美容院へ行く支援が出来る。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る方には、行事としておやつ作りを手伝ってもらっている。好み等も把握し提供している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分確保の為、3回/日の水分摂取（食事時外）を施行して、水分拒否のある方は、その方の気分に合わせて、容器の工夫や配分及び飲み物の種類の変更などで対応している。又、拒否や身体状況によって水分が少ない時は、協力医の点滴にて随時対応している。食事も同様。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔状態や本人さんの力量に応じ用具も使用し支援している。状態に応じ歯科医の往診による口腔ケアをしている。（現在、往診4名）専門的な治療が必要な場合は、ご家族と相談し、治療につなげている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各入居者の排泄パターンを把握して、トイレ誘導・パット交換を行っている。その際、自尊心を損なわないように配慮している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>原因や影響等理解できており対応の為の飲食物（ヨーグルト・牛乳など）、体を動かすこととなるべく下剤に頼らない方向に変更する努力、その他の工夫を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の午前入浴となっている。利用者の希望や体調によって、個別に柔軟に対応している。入浴を拒む方には、声掛け、浴室内の小物を工夫したり、タイミングを見ながら支援し、清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>就寝時間は本人の意思を尊重す るが、その時の状況に応じ安眠 できるよう支援している。 休息はその人のペースや身体状 態に応じた支援をしている。午 後からの臥床も取り入れ気分転 換も行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬支援（服薬拒否も含む）と 症状変化の確認に勤めており、 薬の目的・効能等、一覧にし理 解しやすいようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>家族さんにも生活歴や好きだっ たこと等尋ねながらその人に合 った役割を支援している。 レクリエーションや行事等で気 分転換の支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>今年は出来ていないが、気分転 換に外食を年2回ほど行ってい た。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>お金を持っている方もおられる が、持っていない方も、立替で 買い物が出る様支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>できる方は、自ら電話をしたり、ご家族からの電話で話しをされたり、スタッフの支援により、家族に年賀状を送ったりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁面や各居室入り口に季節の飾り付けや行事の写真、入居者さんの作品等展示し、生活感溢れた居心地良い雰囲気作りに努めている。リビング照明は場所ごとに点灯するので光の強度を落とすことも出来る。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>天気の良い日にはデッキにて日向ほこやフローアには座りやすいソファがあり、共用スペースでゆっくり出来るよう工夫したり、気分転換に違う階に行ったり等過ししやすい工夫をしている。また、安否確認をしながら各々の居室で自由に昼寝、テレビ(私物)を観て過ごしたりなるべく束縛のないよう対応している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>各居室には、思い出の写真やイスやテーブルを置きリラックスできる空間づくりをしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>フロアの壁に今月の行事や、カレンダー、季節の壁面等掲示し、季節感を味わってもらっている</p>		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム春里

作成日 令和3年1月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナのため、運営推進会議を実施できていないが、それに代わる外部への現状報告もできていない。	開催できるまで、ホームの状況・様子等を書面にて家族を含め関係各所に送付する。	2か月に1回、ホームだよりを作成し、状況報告を行う。	3か月以内
2	5	コロナのため、運営推進会議を実施できていないが、普段から運営推進会議への参加が少ない。	開催できるまで、ホームの状況・様子等を書面にて家族を含め関係各所に送付する。	2か月に1回、ホームだよりを作成し、状況報告を行い、ホームへの関心を深めてもらう。	3か月以内
3	35	定期で避難訓練を行っているが、地域の方の参加を得られていない。	地域の方に参加して頂く。	開催できるまで、ホームの状況・様子等を書面にて地域の方に配布する。	2021年5月
4	35	備蓄が少ない。	最低5日分（飲み物、食べ物、オムツ類など）を確保する。	最低5日分（飲み物、食べ物、オムツ類など）を確保する。	3か月以内
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。